

第5回

多摩川 子ども環境 シンポジウム

みんなの発表誌

テーマ「多摩川のここが大好き！」



2012年12月8日(土)に、
フォレスト・イン昭和館(昭島市)で
発表された内容をまとめました。

美しい多摩川フォーラム



© 2007, 2013 ALUPIN, アイフィールド

自然が教える教訓

西日本を新幹線で旅をする時、低い山が続きます。山の樹木は松や広葉樹が大半です。逆に東北を旅をする時、杉などの針葉樹が大半だという印象を受けます。双方に共通しているのは樹木の多い山並みが続きますが屋敷林が必ず目に付く場合が多いのです。これは日本人が自然とともに生きる、つまり共生の思想が日常生活に根付いている証拠かもしれません。樹木は水の恋人です。空から降ってくる雨は樹木の根本に蓄えられ、そして一本の小川となりやがて多摩川のような大きな河となって海に注いでゆきます。ところで最近まで山陽地方の山々は禿山でした。これは今では想像がつかないですね。なぜ禿山になったのでしょうか。早くから集落を形作った山陽地方では燃料としてあるいは建築の材料として木々をたくさん伐採しました。その結果禿山が続くことになり、保水機能がどんどん失われることになりました。西の地方で干ばつが起こったり飢饉が起こったりする原因にもなりました。その結果、ため池という工夫がなされたり、あるいは水の配分に対する取り決めなども村々で話し合いをしながら行われたという記録があります。高温多湿の日本であっても水争いが絶えなかった歴史があるのですが、それは樹林と水が切っても切れない関係にあることに永らく気づかなかっことによる悲劇です。環境は循環システムを前提とします。その循環の一つの輪が断ち切られた場合、即座に環境の異変が起こってくるということに気が付いたのはおそらく人類が集団で生活するようになって早い段階だと思います。ギリシャの哲学者プラトンもポリス（都市）の周辺の山々が禿山になることを嘆きこれが文明のマイナス面だと指摘しました。その時の教訓が生かされないまま人類は文明を発達させてきたのかもしれません。この環境教育は未来を担う子どもたちが悲劇を伴わない文明を築き上げるために第一歩になることを願って行われております。子どもたちの未来に大きな可能性が開けるよう願ってやみません。



づいたのはおそらく人類が集団で生活するようになって早い段階だと思います。ギリシャの哲学者プラトンもポリス（都市）の周辺の山々が禿山になることを嘆きこれが文明のマイナス面だと指摘しました。その時の教訓が生かされないまま人類は文明を発達させてきたのかもしれません。この環境教育は未来を担う子どもたちが悲劇を伴わない文明を築き上げるために第一歩になることを願って行われております。子どもたちの未来に大きな可能性が開けるよう願ってやみません。

美しい多摩川フォーラム 会長 ほその すけひろ 細野 助博

目次

◆開会挨拶／自然が教える教訓	1
◆開会宣言	2
◆会場アンケート	2, 26
【第1部：発表会】	
①「友田の獅子舞」～青梅市立友田小学校～	3
②「わたしたちの『せせらぎ観察園』紹介」～川崎市立下布田小学校～	5
③「多摩川イベント紙芝居」～青梅市立河辺小学校～	7
④「多摩川で観察したこと」～大田区立調布大塚小学校～	9
⑤「気持ちの良い多摩川でのボート」～多摩川でボートを楽しむ会～	11
「ぼくが多摩川でボートを始めた理由」～多摩川でボートを楽しむ会～	12
⑥「浅川とあそぼう」～日野市立潤徳小学校～	13
⑦「多摩川連想ゲーム PART II」～青梅市立河辺小学校～	15
⑧「多摩川に伝わる伝統漁法」～たちかわ水辺の楽校運営協議会～	17
⑨「多摩川の魚たち」～川崎市立登戸小学校～	19
⑩「僕はトビハゼをとりたくなかった～多摩川学習を通してトビハゼについて調べたこと、考えたこと～」 ～学校法人和光学園 和光小学校～	21
⑪「追憶と鎮魂 多摩川灯篭流し～多摩川から絆を発信～」～おさかなポストの会～	23
◆作品賞発表・賞状授与、閉会挨拶	25
【第2部：交流会】	25

※ 発表文の掲載にあたっては、できる限り発表者の表現を活かして編集しており、全体として必ずしも言葉の統一性は図られておりません。

開会宣言

ただいまより、第5回 多摩川子ども環境シンポジウムを開催します。

このシンポジウムは、多摩川流域の環境、文化、歴史などについて、体験学習したことを発表する会です。

お集りのみなさんには、発表をお聞きになり、今までより多摩川流域のことが、少しでもわかるようになればと思います。

青梅市立友田小学校 6年 久下 宗仁くん



総合司会



川崎市立生田中学校 3年 山崎 穂垂 さん

東京都立南多摩中等教育学校 1年 足立 晴菜 さん



会場アンケート回答者

性別	男		女		不詳		合計	
人数・構成比	27	71.1%	8	21.1%	3	7.8%	38	100%

年齢別	10才以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
人数	3	2	3	7	11	3	4	5	38
構成比	7.9%	5.3%	7.9%	18.4%	28.9%	7.9%	10.5%	13.2%	100%

会員別	会員		非会員		不詳		合計	
人数・構成比	15	39.5%	15	39.5%	8	21.0%	38	100%



これから、友田の獅子舞について発表します。よろしくお願いします。
友田の獅子舞は、正式には友田御嶽神社の獅子舞です。

青梅市 友田小学校 6年

石井 池樹くん、伊藤 陽乃さん

久下 宗仁くん、小泉 雅渚さん

田村 真弥さん、本田 翼くん

八木 優希奈さん



獅子舞の起源は？



獅子はライオン、起源はインド

関東の獅子舞は風流系の獅子舞と言われ無病息災を願って踊られます。



友田の獅子舞はいつはじまったのでしょうか？

みなさんわかりますか？
①江戸時代 ②明治時代 ③室町時代



答えは室町時代です。

- ・今より542年前
室町時代の1467年（文明7年）に始まったといわれています。
- ・現在の姿になったのは江戸時代
1736年～1741年の天文年間といわれています。



1年内にいつ踊るのでしょうか？

次の3つのうちのいつでしょう？

- ①春 ②秋 ③夏



答えは秋です。

現在は9月の「秋分の日」近くに行います。
今年は9月22日、23日の2日間行いました。

獅子舞をするまで

- ・獅子舞には7人が選ばれます。
- ・獅子3人（男子）
- ・笠ら摺り3人（女子）
- ・小学校の4年生で1度選ばれると小学校の3年間と中学校の3年間の6年間演することになります。
私たちは4年生の時から3年間演じています。練習は夜に行い獅子舞の本番まで何日も練習します。

獅子舞の様子





獅子舞の感想

私は3年間、友田の代表としてささらをやってきました。

大変なこともあります。毎年9月になると夜からの練習が始まります。家に帰っても耳に笛の音が残ります。うれしかったことは、大勢の人が見に来てくれたことです。

伊藤 陽乃

私の役はささらすりです。

ささらすりは頭に重いものをのせるので痛いです。今年は小学生最後なのでがんばりました。ささらはつらいけど一生けんめいがんばるとたのしいです。

田村 真弥

ぼくはししまいのできる年にあたってよかったです。

練習はししの衣装が重くて大変です。でも、700年以上前から続くししまいがおどれてよかったです。

本田 翼

ぼくはししまいをやってよかったですなと思いました。今まで知らない人とふれ合えるし何より友田の伝統文化を継ぐことができるからです。練習が夜なので疲れてしまうこともあるけど、前夜祭や例大祭を成功させるとたっせい感を味わうことができます。このししまいのよさをこれからもどんどん伝えて行きたいです。

久下 宗仁

私は、このお祭りが昔から続けられていることを知りました。

昔から続けられている伝統文化を受け継ぎ、このお祭りがなくなってしまわないよう、これからも続けていきます。

小泉 雅渚

私はささらすりです。

ささらすりは頭に重いものをのせるのでとても痛いです。衣装で前があまりよく見えないので転びそうになることもあります。これからもしっかりおどれるようにがんばりたいです。

八木 優希奈

ぼくはししまいをやってよかったです。

それは友田の伝統的なお祭りだからです。きつい時もあり楽しい時もありました。これからも続けていきたいと思います。

石井 汝樹

これからも踊り続けます！
ありがとうございました。

わたしたちの『せせらぎ観察園』紹介



ぼくたちは、せせらぎ保護隊21とせせらぎの好きな5・6年生有志です。
「せせらぎ保護隊21」とは、せせらぎを保護するための委員会です。

(パソコン) ~川崎市立下布田小学校~

川崎市 下布田小学校

6年

すずき こうせい たかし りょう
鈴木 康正くん、高橋 遼くん

ぬまた なおひろ みやた ゆうほ
沼田 直宏くん、宮田 悠帆さん

むらた かずき もり あゆむ
村田 和樹くん、森 歩睦くん

いっつき みきあ こばやし りく
一木 幹雄くん、小林 倫久くん

みやた りお
宮田 梨央さん

これから、ぼくらの学校にある

「せせらぎ観察園」について紹介します。

私たちの下布田小学校には、多摩川から分かれた二ヶ領用水が流れている用水路があります。その川を「せせらぎ観察園」と呼んでいます。



せせらぎ
観察園



川崎市立
下布田小学校

大雨や台風の時は水門が閉じられて水がほとんどなくなることがあります、それ以外は1年中ずっと水が流れています。



せせらぎ観察園は学校の敷地の中にあります。このせせらぎ観察園までの距離は昇降口から歩いて10秒くらいです。本当に目の前にあるのです。

ザリガニや小魚・草・花などたくさんの生き物が暮らしています。休み時間になるとザリガニや魚を取って遊ぶこともできます。学校の勉強でもいろいろな時間に使っています。



5月のおわり

アユの放流



今年の5月にこのせせらぎにアユを放流しました。アユの放流では、アユが暮らしやすい環境を作るために石をならびかえたり、流れの速いところを作ったりしました。そして、「大きくなれよ」と言ってアユの放流をしました。

この時にいろいろと教えてくれたのがおさかなポストの山崎さんです。下布田小学校には「やまちゃん」のファンがたくさんいます。

アユの放流から10分後。大変なことがおこってしました。アユがにげていってしまったのです。とってもざんねんでした。すぐにせせらぎ観察園からアユの姿がほとんど見えなくなってしまいました。



アユの放流は失敗に終わりました。アユがせせらぎからいなくなった原因をみんなで3つ考えました。

アユの放流は失敗

1. アミをすりぬけてしまった
2. 子どもたちがおどかしてしまった
3. アメリカザリガニに食べられた

この反省をうけてせせらぎ保護隊では、残った数匹のアユが棲みやすくなるために毎週2回清掃活動を行っています。アミに引っかかったせせらぎの中の水草やゴミなどを拾って捨てています。アミも目の細かいものに変えました。

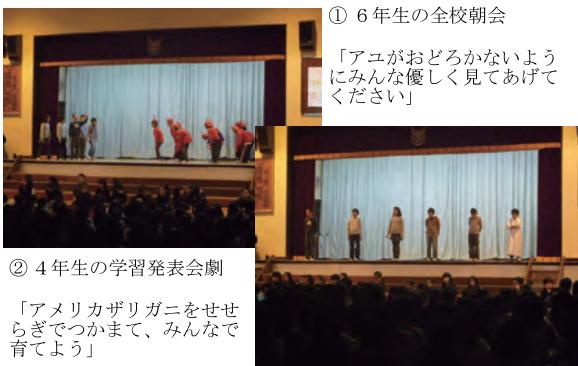
① せせらぎの清掃活動(毎週 2 回)



せせらぎ保護隊 21(委員会)

また、アユや魚たちと上手に暮らしていくようにいふ願いを全校に伝えました。6年生は全校朝会で「アユをおどろかさないように」とよびかけました。

② 全校児童に呼びかける



11月の学習発表会では、4年生がせせらぎの劇をやりました。劇の最後に「アメリカザリガニは外来種だけアメリカザリガニが悪いわけではない。僕たちはアメリカザリガニが好きです。アメリカザリガニを捕まえて最後まで育てよう」と全校児童によびかけました。



さらに、せせらぎ保護隊ではザリガニとり集会をしました。この日のためにぼくたちもたくさんのペットボトルトラップを作りました。ザリガニはたくさん取れました。

つかまえたザリガニは教室で育てたり、学校内にあるコイがいるひょうたん池にうつしたりして、せせらぎにもどることがないようにしました。

ある日の休み時間



下布田小学校のとなりにある保育園の園児もせせらぎにやってきます。休み時間になるとたくさんの小学生と保育園児がせせらぎに集まります。みんなでザリガニを捕まえたり遊んだりしています。毎日たくさんの人でぎわっています。

せせらぎは僕の好きなオイカワやウグイなどの魚がいっぱいいます。水の中以外にもカブトムシやクワガタもいます。こんな自然いっぱいの場所が学校の中にあってうれしいです。

大好きなせせらぎ



このようにぼくたちはせせらぎ観察園でいろいろなことをしています。

ぼくは1年生の時始めてせせらぎに入って水をかけたりしました。2年生では虫を探してスケッチしました。そのほかにも6年間の中でせせらぎでたくさんの思い出をつくることができました。

せせらぎ観察園は下布田小学校の宝です。これからも大切にしたいです。

せせらぎ観察園のこととはよくわかりましたか。

ぼくたちの発表をきいていただき、ありがとうございました。

これで私たちのせせらぎ観察園紹介をおわります。

多摩川イベント紙芝居

(紙芝居)

～青梅市立河辺小学校～

「たまがわ イベント
かみしばい」
はじまり、はじまり～。

ぼくは、ちいさいこ
ろからたまがわがだ
いすきです。

たまがわのすぐち
かくにすんでいて、ち
いさいころからたま
がわであそんでおおき
くなりました。

ことは、だいすき
なたまがわでたくさんあそびました。それをかみしばい
にしました。

5/13「がんばれあゆっ子2012」

このしゃしんは、あゆ
のあかちゃん「ちあゆ」
のほうりゅうです。たま
がわにほうりゅうしました。

バケツのなかに「ちあ
ゆ」はなんびきもいて、
うじゃうじゃしてかわい
かったです。

あゆがげんきよくまた
たまがわにかえってくる
ようにおねがいしまし
た。



そして、はじめてやまちゃんにあった。かみしばいを
よんでくれたから、おはなしもじょうずだし、すごくべ
んきようになった。

6/17「川遊び」

6月 かぞくでたまがわへ



これはかぞくでいつ
たまがわです。ひとり
だけうつっているんです
が、なにをさがしている
かというと、あめんぼを
つかまえようとしている
んです。つかまえられなか
ったけど、にげるのが
はやくて、おもしろかつ
たです。めだかはすごく
いっぱいいました。

7/7「ガサガサ水辺の生き物観察」

つかみどりをしたの
は2かい目です。だから
かんたんでした。

ライフジャケットは、
おぼれたときに、ふえや
なかにかるいものがは
いっていて、おぼれない
からあんしんです。かわ
でこそぶときは、ライフ
ジャケットをきる。ない
ひとはかうようにしま
しょう。ぼくもかいま
す。

7月 2かい目のつかみどり



7月 いただきまーす！



ちいさいぬまではじ
めてガサガサをしました。
カワエビやシマド
ジョウなどをたくさん
つかまえました。たの
しかったです。

おいしそうで、そのま
またべちゃいそうでした
が、いえにかえってか
ら、すぐにやいてたべま
した。

さいしょは、ちがたく



ヤマメをいっぱいつかまえて、いえでいっぱいいたべ
からおいしかった。

これは、ヤマメのつか
みどり。さいしょはどうやつ
てやればいいかわからな
かったからできなかつた
けど、ひとにはじっこや
れーっていわれたから、つ
かまえられた。

あわてないでいそが
ないで、ゆっくりやつたらつ
かまえられた。

ヌルヌルしてたけどいっ
ぱいつかまえられた。

さんあってきもちわるくなりそうだったけど、おとうさんといっしょにやつたら、できました。ぼうをさしたり、ばけつのなかでみずがはいっているところであらつたりしました。しんぞうをみました。とってもうごいてました。

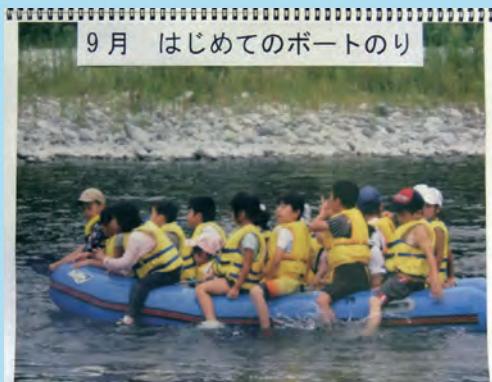
かわあそびは、みずでつぼうをもっていって、いちばんしたのこにみずをかけました。いちばんしたのこは、いやがっていました。いもうとも、みずでつぼうをもっていきました。かわのなかにはいいたら、つめたかったです。そのときにみずきりをやりました。2かいぐらいはねて、うれしかったです。

おたまじゃくしもいてかわいかつです。いつカエルになるのかなあ。



9/1「ガサガサ水辺の生き物観察会、水辺の水族館」

はじめてボートにのりました。おとなはのれなくて、おとうさんはのりたがりそうにみてました。いちばんまえにのって、おちそうでこわかったです。ふかいところにいって、したをみたら、わーっ、ふかーい、とおもいまし



いました。

おなじひに、みずべのすいぞくかんがきてくれました。カメをほっぺのよこにして、しゃしんをとりました。カメは、こうらがかたくて、おなかもかたかったです。

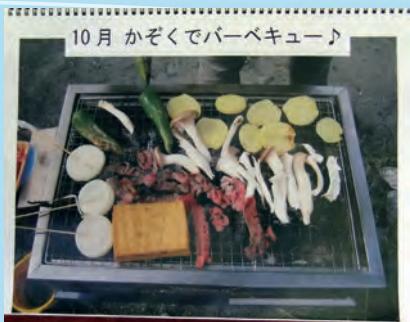
カニをさわりました。カニのハサミがこわかったです。ゆびがきられそうになったからです。



あさ、テレビでていて、ボートにのっているじぶんがうつっていました。じぶんがふたりいるとおも

10/14「BBQ」

バーベキューセットをかって、はじめてバーベキューをしました。いもうとはほんとうは、おにくはちょっときらいで、でもおにくをすごくたべました。じぶんもいっぱいいたべました。おとうとは、はやはやくーとかいました。



10/21「親子さかな釣り体験教室」

10月 はじめてのさかなつり



はじめてたまがわのイベントでつりをしました。さいしょはうまくつれなかつたけど、おとうさんがたすけてくれて、できるようになりました。それでいきおいよくやりすぎて、てぶくろにはりがささりました。いたくなかったです。さかなを10ぴきつりました。はしもあって、らく

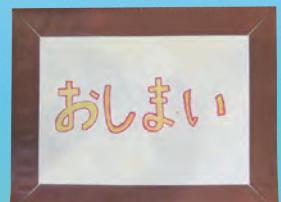
らくわたれるようになりました。とんじるとやきざかなをたべました。おいしかつです。つりざおはおしえてくれるひとにおしえてもらって、つくりました。じぶんでつくると、つりがうまくなるかもしれない。おおきいヤツをつたひとは、いっとうしょうで、おもちゃのつりをもらっていました。いいなあとおもいました。らいねんはもっとでっかいやつをつるぞ！

ことし、たまがわでたくさんあそんで、たのしかつたです。たまがわは、だいすきです。

むかし、たまがわがきたなかつたと、おとうさんからききました。

きたなかつたときのたまがわのおさかなはたべたくないません。あそびたくないです。いまはきれいなのでたべたいし、あそべます。

らいねんも、このようなイベントにぜんぶでたいです。イベントありがとうございます。



多摩川で観察したこと

(パソコン)

～大田区立調布大塚小学校～

大田区 調布大塚小学校 4年 かなざわ ひかる こだま ともか よしむら るな 金澤 光さん、子玉 朋佳さん、吉村 瑠南さん



私たちの学校は東京都の大田区にあり、歩くと20分くらいで多摩川に行くことができます。3年生から総合的な学習の時間「大塚タイム」の中で、春は植物や虫の観察、秋には川に入って魚を網で捕まえる「ガサガサ体験」、冬には野鳥観察をしてきました。



そして、今まで多摩川について調べてきたことでさらに自分が詳しく知りたいことをグループで調べ、パンフレットにまとめました。

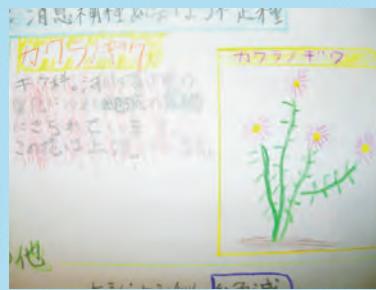


(子玉 朋桂)

私は多摩川の植物を調べました。多摩川では約420種類の植物が確認されています。その中で私は絶滅種や数が少なくなってきた植物について図書室の本やインターネットをつかって調べました。



シオクグはカヤツリグサ科で多摩川の下流にあります。シオクグは地下に茎をのばし、そこから細い葉を出します。それに塩分の多い土地を好みます。今は絶滅危急種に指定されています。カワラノギクはキク科の植物で河原の中流ふきんでしかも玉石がゴロゴロして



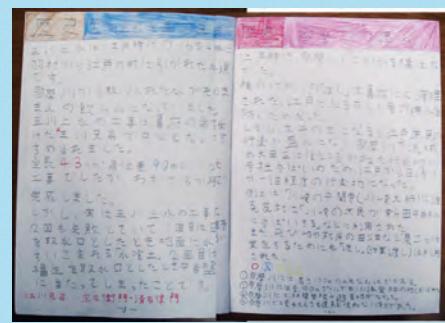
いるような河原でしか生息できません。洪水対策のために玉石がへり、生息できる場所が減ってしまったためにこれも絶滅の危機にさらされています。

他にもいろいろな植物が絶滅するおそれがあることがわかりました。また、それらの植物を守るためにたくさんのボランティア活動が行われていることがわかりました。

せっかくのきちょうな多摩川の植物がなくなってほしくないと思いました。

(金澤 光)

私のグループでは多摩川の渡しと玉川上水と玉川兄弟について調べました。多摩川の渡しについてわかったこと



は、多摩川には昔、橋がなくて橋のかわりに渡しがつかれていました。その渡しは幕府によって管理されており、そのおかげで多かった不審者が大幅にへったようです。

次に玉川上水と玉川兄弟についてわかったことを発表します。玉川上水は江戸時代の1154年に羽村から江戸の町に引かれた水道で玉川兄弟（庄右衛門、清右衛門）が中心となって、工事がすすめられました。全長40キロメートル・高低差90メートルという大工事でしたが、わずか8ヶ月で完成しました。

調べた感想は多摩川の知らないことがいろいろわかつたし、楽しかったです。

(吉村 瑠南)

私は多摩川の始まりと流域のことについて調べました。調べてわかったことは多摩川の水源地などです。水源地が山梨県塩山市、標高1953メートルの、笠取山です。これを知ったとき、私は多摩川はこんなに遠くから流れてきているんだなと思いました。流域内人口は約425000人です。思ったよりたくさん的人がいるんだなと思いました。



私は多摩川のことを調べていろいろなことを知ることができました。とても楽しかったです。また調べたいと思いました。



他のグループでは、多摩川の魚について調べたり、石や植物、施設についても調べたりしました。

自分たちが調べたことや、他のグループが調べたことを聞いて、今までよりももっと多摩川を身近に感じられるようになりました。

(子玉 朋桂)

私は多摩川から見える富士山が好きです。私は時々朝、父と多摩川河川敷まで散歩に行くのですが、その時に富士山がくっきり見て、すごくきれいです。東京では高い建物で富士山の見える場所が少なくなっているので丸子橋からの富士山がいつまでも見えるといいなと思います。



多摩川の好きなところは

はしです。理由は気になることがたくさんあるからです。それと、多摩川ははしも河原もきれいですから、そのきれいさを守るために私は大きくなったら多摩川

を守るボランティア活動もしていきたいです。

(吉村 瑞南)

私の多摩川の好きなところは、たくさん的人が集まる場所だからです。理由は、多摩川は野球ができる、植物の観察ができる、魚を見たり、虫をとったり、ジョギングやサイクリングができる、散歩ができる、まだまだたくさんありますが、小さな子どもから、お年寄りまで



楽しめる場所です。私たちの住んでいる雪谷は大きな道路やビルもあり、安心して遊べる場所があまりありません。私たちにとって多摩川は自転車で10分、自然と会える大切な場所です。虫や魚たちにとっても大切な場所です。この間、ガサガサ体験がありました。そのときの先生は「えのきん先生」といいます。えのきん先生はとても



熱心に私たちに多摩川の水辺の生き物について教えてくれました。多摩川はえのきん先生のような研究している方、暑い中、草刈りをしてくれる方、たくさんの人々に守られて今

の美しい多摩川があると思います。私の父と母も多摩川で遊んで育ちました。私も多摩川で遊んでいます。これからもずっと多摩川はたくさんの人が集まって、楽しい時間を過ごさせてくれると思います。

私たちは多摩川がとても好きになりました。クラスの中にも、休日には、多摩川に散歩に出かけたり、サッカーや野球をしに行ったり、川遊びを楽しんだりする人がたくさんいます。



そんな多摩川ですが、秋のガサガサ体験のときに、ある異変が起きていることを聞きました。それは、今まで多摩川にいなかった生き物が、多くみられるようになったということです。学級でそのことについて話し合ったときには、多摩川で今まで見られなかった生き物が見られることは、いいことだという人もいました。逆に、今まで多摩川にいた生き物が新しくやってきた生き物と仲良く暮らしていくのか不安に思う人もいました。



私たちは、多摩川のこれらの異変についてクラス全体で考えていきたいと思います。そして、私たちが多摩川のためにできることを考えていきたいです。

以上で調布大塚小学校の発表を終わります。

5-1 気持ちの良い多摩川でのボート



ぼくの通う嶺町小学校は、多摩川の土手沿いにあります。休み時間は、毎日土手で遊びます。授業では多摩川に入り、魚やエビ、カニなどの生き物を取って、教室で育てています。姉がやっていたボートにぼくもちょうどせんしてみようと決めたのは、多摩川をもっとよく知ることができると思ったからです。

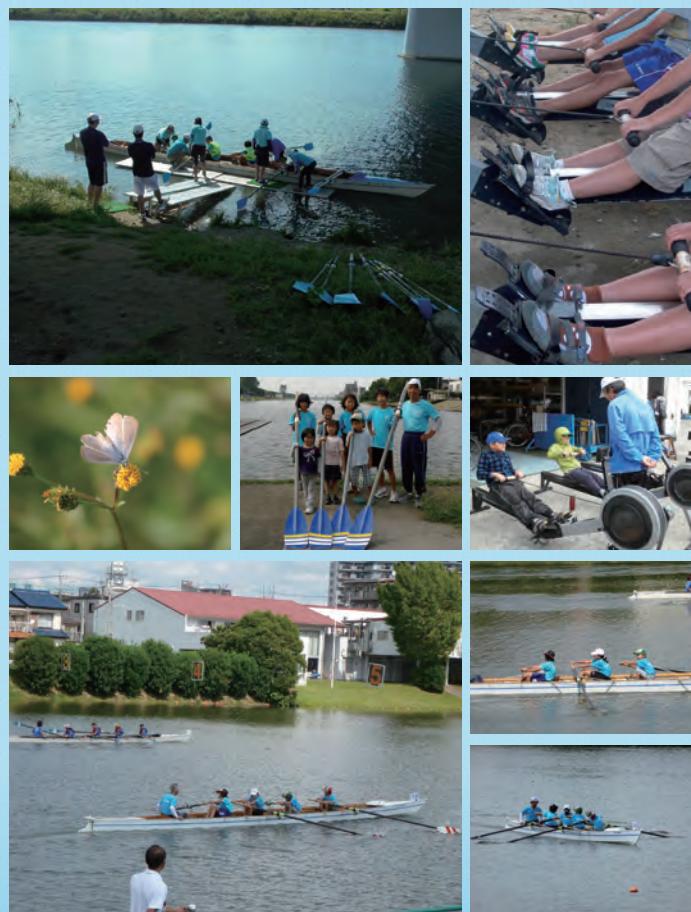
ぼくの入っている「多摩川でボートを楽しむ会」は、多摩川のガス橋付近でいつも練習をします。たまに試合などで、つる見川、戸田、お台場でこぐこともあります。その中で、こいでいて一番わくわくするのは、多摩川です。両岸が緑でかこまれていて、浅瀬にはサギなどいろいろな種類の鳥が集まります。水中には、スズキやハゼ、ヌマチチブ等がいます。練習中にボラがはねるのもよく見かけます。ボートをこいでいる時の楽しみは、動物や植物のかんさつかれることはもちろん、多摩川をふきぬけるさわやかな風を感じられることです。多摩川は水もきれいで、都会の中では、自然のゆたかさを感じられる、みんなのいこいの場です。

(パソコン) ~多摩川でボートを楽しむ会~

大田区 嶺町小学校 4年 庄子凜くん

昭和の汚染がひどかったころの事は生まれる前で知りませんが、すいぶん水しつもかいぜんしたと聞きます。きっと今ぼくが、気持ちよくボートを楽しめるのは、川をきれいにしようと、多くの人々の努力があったからだと思います。

去年までは小学生メンバーの中で最年少でしたが、今年からは僕が最年長です。始めたばかりの年下の子たちに、多摩川でボートをこぐ楽しさを伝え、川のかんきょうにもきょうみを持ってもらえるよう、努めています。そして、来年はレースで今年よりもよい結果が残せるよう、メンバーで気持ちを一つにして、練習をがんばりたいと思います。



ぼくが多摩川でボートを始めた理由

ぼくが多摩川でボートを楽しむ会に入ったきっかけは、夏休みの少し前に大田区ほうで「小学三年生から、さんかできるボート体けん教室」という記事をお母さんが見つけて、おうぼしてくられたからです。



初めてボートの練習

行った時、コーチをしてくれる人たちがとてもやさしくて、ていねいに教えてくれたので、実さいに乗る時も全ぜんこわくありませんでした。

ボートに乗ってから、こぎ始めの合図「ヨーイ、ロー」や、こぎかたやめの「イージーオール」など色々なごうれいのかけ方や、ボート用語なども教えてもらいました。ボートのいすが動くのにはびっくりしました。

少し練習をして、みんなのいきがあつてくるとだんだんスピードが出てきて風が顔に当たってとても気もち良かったです。

家に帰ってからも楽しかったことを思い出して、またやってみたくなつたのでお父さんといっしょに「多摩川でボートを楽しむ会」に入会することにしました。



(パソコン) ~多摩川でボートを楽しむ会~

たなか こうへい
大田区 久ヶ原小学校 3年 田中 康平くん

それまでぼくは多摩川にかかる橋は何度も通っていたけど、多摩川の土手には、年に一度の花火大会くらいしか行ったことがなくて、多摩川でボートができるなんて、ぜんぜん知りませんでした。

多摩川は緑がいっぱいあって虫や鳥たちも多く、ボートをこぐと、トンボがついてきます。たまに、魚がはねたりするので水面を見ているのもおもしろいです。

休けいの時にボートから、かせんじきを見上げると、野球のグランドのほかに犬のさん歩をしている人や、つりをしている人たちがたくさんいて、多摩川には色々な楽しみ方があるんだなあと思いました。

ぼくは多摩川の近くに住んでいるのに、全ぜん多摩川の事を知りませんでした。これからはボートをとおして多摩川の事をもっともっと知りたいと思います。

そして、はじめて出場したレガッタ大会では、ほかのチームよりだいぶおそかったので来年こそは、いっぱい練習をして、ぜったい一位をとりたいです。

また、5年生は近くの方の田んぼを借り、水辺の楽校の皆さんのご指導で米作りを行っています。これは、田植えの様子です。



7月 浅川で遊ぼう 2 源流探検

7月には、浅川の源流を見学しました。



8月は、浅川で思い切り遊びました。少しこわかったけれど、三脚から飛び降りたときの気持ちや、浅川とともに流れる気持ちは最高でした。2年生の秋谷 優衣さんお願いします。

わたしは、8月に友だちと水べの楽校で川あそびをしました。きゃたつにのぼって川にとびこみました。6回とびこみました。つぎにあみで小さな魚をすくいました。魚がにげるたびにすべててころんできました。さいごに川でおよいだら小さなえびが石にとまっていました。(とっても楽しかったです。魚やえびがたくさんいて、秋には、草原でバッタとりができるこの川が大すきです。また、来年も水べの楽校に行きたいです。



9月 浅川で遊ぼう 4 みんなでガサガサ

9月は、浅川であそぼう4でした。たくさんの植物や虫を見つけました。植物を使った遊びも教わりました。



10月、11月は、稻刈りと脱穀をしました。5年生の鈴木 権奈美さんお願いします。

「米作りをしてわかったこと」5年3組 鈴木権奈美

私は、米作りをしてみてわかったことが2つあります。

1つ目は、田植えをする前に種もみという作業があることです。私は種をそのまま



ま田んぼに植えるのかと思っていたので、水辺の楽校の方や、JAの方の説明聞くと、種をあるていど成長させてから植えると言っていたので、そんな作業があるんだなと思いました。

2つ目は、米作りはすごく大変なことです。私たちがふだん食べているお米は、作るのにすごく時間がかかります。

* 11月 脱穀



1ふくろのお米でもたくさんのがかかわっていることがわかりました。全部の作業がすごく大変だったけれど、全部の作業に意味があつて、お米が作られるまでの作業を知って今までのお米の考えが全部変わりました。

私たちがいつも食べているお米は、作る人の思いがつまっていることがわかりました。

12月は、日野市の地域清掃が行われます。



1月は、浅川で遊ぼう6のどんど焼きの予定です。



どんど焼きの組み方、様々です。
これは、「かまくらづくり」という名前です。

こちらは、「美人つくり」という形でできています。

今年はどんな作りでしょうか。



小倉紀雄先生をはじめ、水辺の楽校に携わってくださっている皆様ありがとうございます。



現在の潤徳小学校裏、とんぼ池

水辺の楽校では、多くの活動を行っています。これは小倉先生をはじめ、企画をしてくださった水辺の楽校や地域の方々のおかげです。
ありがとうございます。

多摩川連想ゲーム PART II

(パソコン)



河辺小学校は東京都の愛鳥モデル校です。



川の河辺グランドでマラソン大会をします。

今年、河辺小学校は「おはスタ」のテレビに出演してちょっと有名になりました。テレビ局の人が河辺小のホームページを見て「多摩川で自然体験学習」をする小学校を取材したいと言ったそうです。



「愛鳥博士テスト」も紹介されていましたが、ぼく達も1年生でテストに合格して「愛鳥博士」になりました。これは「愛鳥博士の合格バッジ」です。今年は、鳥の鳴き声を聞いて名前を当てる、「スーパー愛鳥博士テスト」と言うすごいテストが出来ます。このテストは「愛鳥博士」に合格した人しか受けられません。ぼく達は第1回の「スーパー愛鳥博士」になりたいので、今、一生懸命勉強中です。



河辺小では、鳥や植物を詳しく教えてくれる講師の先生方と一緒に多摩川で自然体験学習をしたり、多摩

マラソン大会



これは、9月に放映された「おはスタ」の一部分です。(1分40秒)

テレビでは、多摩川でのイベントや河辺小学校の特色の一つでもある「愛鳥博士



ぼくは、愛鳥博士のテストを1年生の1学期にうけたけど、うかりませんでした。ぼくのお兄ちゃんは今までの1年生の中で、1番早く愛鳥博士に合格した記録

を持っているので、その記録をやぶろうと思ったけど、むずかしかったから、2学期の「愛鳥博士テスト」では、ぼくも「愛鳥博士」になりたいです。



これから、「青梅・多摩川水辺のフォーラム」のイベントで体験した、青梅の河辺川原での楽しかったことを発表します。毎回、イベントには、河辺小学校

の校長先生や副校長先生、いろいろな先生が一緒に参

加してくれるのでとっても楽しいです。

3月のイベントは「野鳥観察とやきいも大会」でした。カワセミは、また見つけられませんでした。でも焼いもは甘くておいしかったから、また来年も参加したいです。



5月のイベントは「植物観察とヨモギ団子作り」でした。ぼくはヨモギ団子作りが2回目だったから、上手に作れてうれしかったです。

7月のイベントは「魚のつかみどり・ガサガサ水辺の生き物観察」でした。このイベントには山ちゃん先生が来てくれるので、川のことをたくさん教えてもらえて、「ミニ多摩川博士」になれそうです。



9月のイベントも「ガサガサ水辺の生き物観察会、水辺の水族館」でした。このイベントにも山ちゃん先生が来てくれました。ライフジャケットをつけて多摩川をボートで流れたり、脚立から思いっきりジャンプして多摩川に「ドボーン」と入ったのも初めてだったので、楽しかったです。

青梅には多摩川で安全に遊べるイベントがたくさんあるのでうれしいです。

美しい多摩川フォーラム



ぼく達は、もう一つ興味のあるイベントがあります。それは、「美しい多摩川フォーラム」のイベント・「子どもカヤック体験教室」と「炭焼体験」です。カヤックは河辺川原より、もう少し上流の「釜の淵川原」です。弟が3年生になったらぼく達も一緒に体験してみたいです。

今年は7月に「おうめ水辺の楽校」も開校しました。この楽校は「青梅・多摩川水辺のフォーラム」の方や「美しい多摩川フォーラム」の方など4つの団体が協力して出来上がったそうです。ぼくは、開校式のテープカットをさせてもらいました。こんな貴重な体験ができる本当にうれしいです。大人になっても絶対多摩川の自然を守ろうと思いました。ぼく達は川原で遊ぶことが大好きなので、青梅にも水辺の楽校ができる本当に良かったと思います。

これから「スーパー愛鳥博士テスト」のように鳥のなきごえクイズを3問出します。

名づけて「わたしはだあれ? クイズ~」

ヒント



1問目。この鳴き声はなんの鳥でしょうか?

「ヒント」

ぼくたちの好きな鳥で
きれいな鳥です!

正解は、3番のカワセミです。

2問目。この鳴き声はなんの鳥でしょうか?

「ヒント」

メスは色が違います。

正解は、ぼくたちの愛鳥

博士バッヂの「ジョウビタキ」2番です。

ヒント



3問目。さいごの問だと思います。この鳴き声はなんの鳥でしょうか?

「ヒント」

河辺小にも飛んで来ます。かっこいいです。

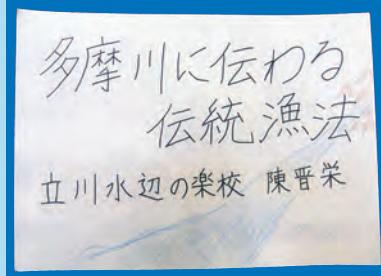
正解は1番のトビです。



多摩川に伝わる伝統漁法

(紙芝居)

これから、ぼくの発表を始めます。
題は、「多摩川に伝わる伝統漁法」
です。



伝統漁法とは、大昔から代々伝わってきてる漁法の事です。多摩川には、およそ百種類を超えると言われていますが、本日は

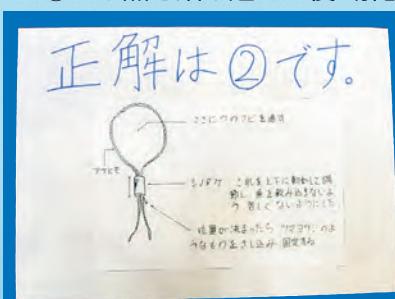
その中から人気のある漁法を紹介します。

みなさんは、鵜飼という伝統漁法を知っていますか？岐阜県長良川の鵜飼は有名ですが、実は多摩川にも、昔から鵜飼があつたのです。鵜飼は、ウミウとカワウという二種類の鳥を使って行われます。当時、世界的な魚類学者であるアメリカのジョルダン博士の著書にも多摩川のウカイが掲載されていました。



ここで問題を出します。

鵜飼はウを使ってどうやって魚をとるのでしょうか。
①ウが魚を飲み込むとする時に、魚をとる
②ウが魚を飲み込まないようにする
③ウが魚を飲み込んだ後、解剖して魚をとる



正解は②です。

鵜飼は、三人、もしくは一人だけで行われます。そして、二羽のウをひもであやつります。その時、図のようにウの首を首

輪でしめて、ウが魚を完全に飲み込めないようにしていました。

アユは、下流から上流へ泳いでいます。しばらくすると、突然目の前に張りめぐらされている網にびっくりぎょうてん！



～たちかわ水辺の楽校運営協議会～

立川市 第七小学校 5年 陳 晋栄くん

実は、川の上流と川の左右に網を張っていたのです。なんとか必死で下流へにげようとしていますが、ウがするどいくちばしてアユをつかまえてしまうのです。



アユをとる漁法は、いっぱいあります。でもぼくはその中でもハネアミがとれる確率が高いと思います。

ハネアミは、麻のひもに石をたくさん結びつけて、重りの代わりにします。その石のうらにはある植物の葉を使います。それでは、そのある植物の葉とは何でしょうか。

- ①イチョウの葉
- ②桜の葉
- ③シロダモ (ウラジロともよばれている)

正解は③です。

当時、シロダモ等の葉のうらが白いものは、ウラジロとよばれています。シロダモ等のウラジロは、葉のうらが白いのが



特徴です。アユをとるわなをしき、そのしきをみんなで下流へと引っ張ります。すると、あら不思議。何もしていないのにアユがぴちゃぴちゃとびはねています。なぜでしょうか。先程シロダモ等のウラジロは、葉のうらが白いのが特徴と言いました。そうです。ウラジロが水中でピカッピカッと光っているので、おどろいて飛びはねてしまったのです。実際に、葉のうらが白い植物をトレイに水を入れてその中に入れました。白くとうめいに水中で光っていました。アユは、後ろで船形をした網を持ってくつついでいた人に、待ってましたとられてしまいます。

伝統漁法は、長い年月をかけて、魚の習性を巧みに利用して生み出されているのです。

みなさんは、カジカという魚を知っていますか？カジカは、ハゼという魚の仲間で、水の冷たい川の上流や支流に住んでいます。多摩川では、2月頃、子どもたちの間でカジカ突きが行われます。



川に入って箱眼鏡で水中をのぞきます。そして、丸い石があつたら、そつとひっくり返すと、カジカ君、君はこんな所で何をしているのかね。

- ①たまごを生んでいる
- ②ねむっている
- ③エサを食べている

正解は、②です。

カジカは主に冬、産卵しますが、それ以外にも理由があります。もう1つの理由は何でしょうか。冬になると、川の水温は下がり、冷たくなります。カジカは冬になるとなぜか動きがにぶくなるのです。それと反対に、夏になると動きがすばやくなります。その時、間を空けず、鉛でカジカを突きます。カジカは、非常においしい魚と言われています。カジカがおいしいのは、ダシです。このカジカ特有の「ダシ」を生かしてカジカを原料とした日本酒や、にものなどのカジカ料理も、昔はありました。ちなみに、聞きますけど、この中でカジカ食べたことある人、いますか? ぼくも機会があつたら、ぜひ一度食べてみたいです。

だれにでもできるといわれている漁法があります。あんまづりです。

あんまは、あまりよくない表現ですが、だれでも楽にできる、目をつぶっていてもできるからだそうです。



高速で移動しているという経験があるかと思います。その小さな虫を川虫と言います。もうお気づきの方もいるかもしれません、この川虫があんまづりの際にエサとなります。

では、最後の問題です。みなさんよ～く考えてくださいね。

カジカ突きは、まず、

まず、この川虫をつかまえて、頭から針に差して、竿に結び付けます。それから、前後にユサユサと動かしながら、前へ進みます。そして、ピックピックッと何か魚がふれたような手ごたえがしたら、竿をブンブンとふり回します。ブンブンとふり回すのは、魚が針からスロット落ちないようにするためです。伝統漁法には、ユニークな漁法がたくさんありますね。

多摩川は、昔は多摩の母なる川とよばれるほどとても豊かな川でした。今では、信じられない話ですが、石を投げたり、手づかみしただけでも魚はたくさんとれたのです。では、なぜ母なる川から伝統漁法は姿を消したのでしょうか。

昭和40年代、多摩川には、大量のおせんされた水が流れ込み、魚のすみかはなくなり、悪臭をはなちました。その時期



を境として伝統漁法は、私たちの生活とかけはなれてしまったのです。

それでは、私たちは、どうすればよいのでしょうか。ぼくは、昔の人が多摩川、それに伝統漁法に対し持っていた思いを忘れず次の世代へと引きついでいくことが大切だと思います。



これでぼくの発表を終わります。ご静聴ありがとうございました。

参考にした本・資料

- 立川民俗シリーズIV 多摩川と生活 魚と伝統漁法
- 立川民俗シリーズV 多摩川と生活 多摩川中流域における漁撈具
今昔写真集 たちかわ
- 写真集 たちかわ
- いずれも立川市教育委員会より発行
- 多摩川水系における漁法と漁具 安斎忠雄
- 多摩川物語—上中流七十年史 根岸律男
- 多摩川お魚図鑑 多摩川流域水辺の楽校連絡協議会事務局
- 小学館の図鑑 NEO 鳥
- 写真集多摩川は語る 三田鶴吉 監修
- 立川市歴史民俗資料館 資料館見学の手引き
- 多摩川の漁法と魚具
指導先生 鈴木功様

多摩川の魚たち

(もぞう紙)

～川崎市立登戸小学校～



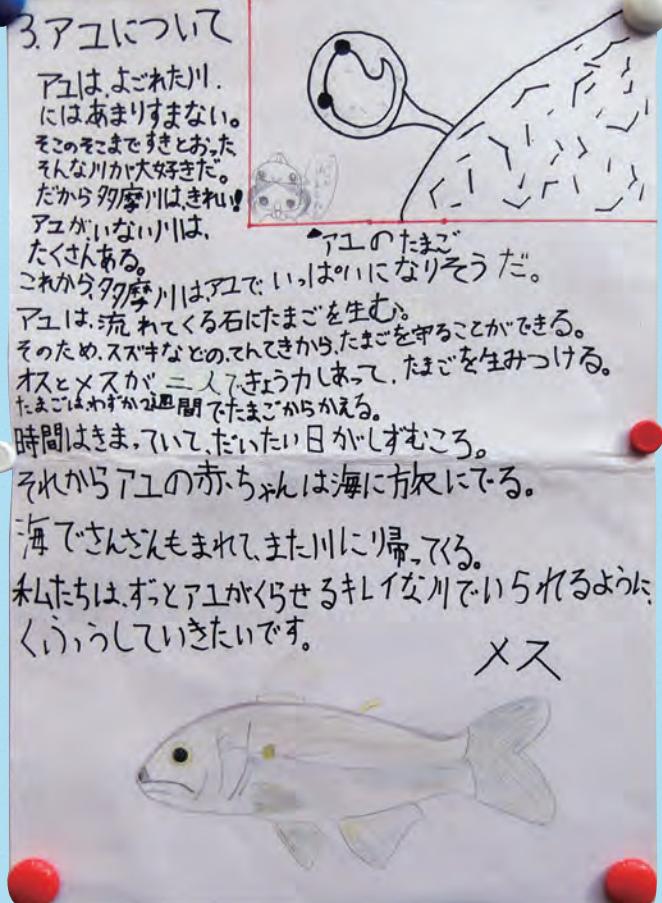
これから、
私たちの発表を
はじめます。

川崎市 登戸小学校 4年 笠井 智帆さん、工藤 優南さん

- ・カワムツ・ウグイ・アブヤハヤ・モツゴ・タマロコ
- ・ムキツグ・カマツカ・ニゴイ・フナ・コイ

大きな川の中流、下流の流れのない、よどみにすんでいます。コスリカのよう虫などを食べてくらす。よこれに強い魚です。

私たちは、アユのことを中心に発表します。



3. アユについて

アユは、よごれた川にはあまりすみません。そこそこまですきとおったそんな川が大好きです。だから多摩川はきれいです! アユがいない川はたくさんあります。これから、多摩川はアユでいっぱいになります。

アユは流れてくる石にたまごを生む。そのため、スズキなどの、てんてきからたまごを守ることができます。

オスとメスが二人できょう力しあって、たまごを生みつける。たまごは、わずか2週間でかえります。時間はきまつていて、だいたい日がしづむころです。それからアユの赤ちゃんは海に旅にでます。海でさんざんもまれて、また川に帰ってきます。私たちは、ずっとアユがくらせるキレイな川でいられるように、くふうしていきたいです。

2. 多摩川の魚たち・市内

まず、多摩川にせいそくしている一部の魚をしょうかいします。

アユ科・アユ

このことについては、「3」で説明します。

コイ科・オイカワ

川の中流、下流にすんでいます。「も」や底生動物を食べます。少しよごれた川でも生きていけます。

4. 「アユ子の一生」 マンガ

アユ子は、アユ美とアユ太の間に産まれたひとつたまごです。でも産みの親は死んでしまいました。さて、アユ子はどうすればいいでしょう。

「ああ、早くたまごから出たいな」これがアユ子の願いです。

アユ子は、ほかの兄弟たちと石にくつついでいます。

「あと2週間で外にでられるんだ、きっと楽しいだろうな」

アユ子は川や海がどんなにこわいか、まだわかつていません。

2週間がたちました、さあいよいよです。

「わあ、すごいすごい」アユ子はこう言っていますが、みなさんはアユ子がどれかわかりますか？一番まんなかの矢印の子です。

アユ子たちは、海にむかいます。

「海につつまれ大変だ。つらいぞ、でもがんばるぞ」

アユ子たちは長い長い旅にでるのです。

そして、海にさんざんもまれて、また川に帰ってくのです。

長い旅が終わってまたアユ子たちが川に帰ってきました。

おや、みんなの体の大きさや色がちがいます、もうりっぱな大人ですね。

「レッツゴー！」アユ子たちはかけ声をあげていきます。

アユ子たちの親せきがたくさんいます。

「わあ」あっ、てんてきのスズキです。

スズキは、アユ子たちを追って川にのぼってきてたのです。

スズキ：「フフフ、全部まとめて食ってやる」

「わああ」アユ子たちは、必死（ひっし）に逃げました。

「みんなだいじょうぶ？」みんな、なんとか逃げられました。

「ふうう、よしもっともっと先までがんばるぞ」

ですが、アユ子たちはだんだん疲れてきました。

「ちょっとゆっくり泳ごう」

アユ子たちが、ゆっくり泳いでいると

「わあ助けて」

なんと、コサギにすえっここのアユがつかまえられてしましました。

コサギ：「ううん、おいしかった」次ぎはどいつを食べよう。

「逃げろ～」

ものすごいスピードで泳ぐと、どうやらコサギもあきらめたようです。

「ふう、ゆだんたいてきだよ」そう言いたいくらいです。

アユト：「わああ！」

あれれ わあ大変！ 人間のタロウ君が川の中で振り回して遊んでいたバケツの中に兄さんのアユトが入ってしまいました。

「みんな逃げてくれ！」アユトがそう言ったのでしょうか、なかまはいっせいに逃げだしました。

タロウ：「お水お水！ わーい！ あれ、アユさんが入っている、すごいよ！ わーいわーい！」

タロウのパパ：「タロウ、すごいじゃないか。そうだ、アユを塩やきにしよう。うまいんだぞう」

タロウ：「わかったパパ、食べよう！」

あれれ、タロウ君はアユトを食べる気みたいですね。

アユにとって、人間は大きなてんてきですね。

アユ子：「お兄ちゃん、こわいよう。2匹もいなくなっちゃった」

さびしそうですね。

また少し時間がたつとほかのアユに出あいました。

アユ子はどういう気持ちなのでしょうか。

あれ？アユ子はほかの群れの先頭にいるアユ男を気に入ったみたいです。

アユ男：「あのー」アユ男もアユ子を気に入ったみたいですね。ラブラブですね。

アユ子：「もしよかったら、たまごを産みませんか？」

アユ男：「あっ、はい」これで、カップル成立ですね。

うまく行くのでしょうか。

時間が少したちました。

アユ子：「そろそろ、たまごを産まないと…」

アユ男：「あーそうですね…」

アユ子は、おなかにうたまごがあるのです。

「うーん。」「だいじょうぶ？」

「うまれそうな気がする」「もうすぐか、がんばれ」

「うーん」「がんばれ！」「あとちょっと！がんばれ」

「わあ、うまれた！やったー」

やっとのことでうまれました。

なまえは、アユカみたいですね。

アユ子：「やっとうまれたけど、私たちはもうすぐ死んじゃうのね」

アユ男：「うん、くるしいけどね」

それから2匹は天国に行きました。

あれれ、アユカがたまごからかえったみたいです。

アユカはどんな冒険をするのでしょうか。

おしまい

4. アユ子の一生

登場人物

アユ子（♀）

アユ男（♂）

スズキ（♂）

アユ美（♀）

アユ太（♂）

コサギ（♀）

タロウ（♂）

パパ（♂）

アユナ（♀）

アユト（♂）

アユカ（♀）

アユ子

アユ

ア

僕はトビハゼをとりたくなかった

～多摩川学習を通してトビハゼについて調べたこと、考えたこと～

(パソコン)

僕の学校では、4年生のときに1年間かけて多摩川について学びます。

僕は、4年生のときに絶滅危惧種であるトビハゼをとって教室で飼育することについていろいろと考えたり調べたりしたことを発表したいと思います。



学校の水槽にいた大師干潟のトビハゼ
撮影：栗原伸先生

でも、僕はトビハゼをとって学校に持つて帰るのはいやでした。それは、**トビハゼが準絶滅危惧種だからです。**

まず、僕の学校の多摩川学習について説明します。

僕の学校の多摩川学習

- ・上流 → 林間合宿
(最初の一滴、森林体験)
- ・中流 → 魚とり、化石掘り、野草採取、
野鳥観察など
- ・下流 → 魚とり（大師干潟）

一滴を見に行ったり、かんばつななどの森林体験をさせていただいたら、登戸あたりの中流では、野草を探って食べたり、魚をつかまえて観察したり、下流の大師干潟では魚をとったりします。

僕は大師干潟で、担任の先生に、「トビハゼは、レッドリストに載っているからとっちゃいけないよ。」と言いました。僕は、その時、死なせてしまったらどうしようと思ったのです。

そして、トビハゼは結局死んでしまいました。

あの時、先生が聞いてくれれば、トビハゼ一匹の命が救えて、もしかしたらそのトビハゼは赤ちゃんを産んだかもしれないと思って、しばらくとても悲しい気持ちでいました。

今日は、それをきっかけにトビハゼについて、色々な方に教えていただいたことや、自分で調べたこと、そして考えたことについて発表したいと思います。

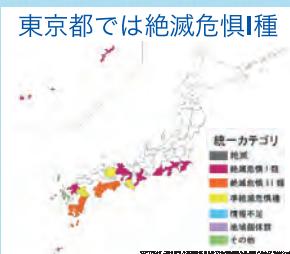
トビハゼは、環境省のレッドリストで、準絶滅危惧種に指定されています。

「レッドリスト」とは、「絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト」のこと、環境省が日本の動植物の生息じょうたいを調査して、どれくらい絶滅の危険があるかによって分類した希少動植物のリストです。そのなかで、トビハゼは6番目の「準絶滅危惧種」です。

でも、レッドリストにのったから、絶滅から守れるわけではなく、生息している地域で、保護のために行われる取り組みが大切です。レッドリストに載っている動植物は、早くこのリ



これは、今年の4年生が、大師干潟でとつて飼育していたトビハゼです。トビハゼは、干潟でぴょんぴょん飛び回るハゼの仲間です。去年の僕のクラスでも、トビハゼを飼育していました。



～学校法人和光学園 和光小学校～

世田谷区 和光小学校 5年 中村 伊希くん

ストから外されることを目指すためにここに載っているのだとさうです。

環境省のレッドリストのほかに、各都道府県でも絶滅危惧種などの指定をしています。

例えば、東京都、神奈川県、千葉県、静岡県、三重県、大阪府、兵庫県、福岡県、沖縄県ではトビハゼ「絶滅危惧Ⅰ種」という、絶滅寸前または絶滅危惧種に指定されていて、やっぱり都会のような、人がたくさん住んでいそうなところでは絶滅危惧Ⅰ種なんだなと思いました。

でも、トビハゼをとってもバツはない。

東京都の自然保護条例

(東京都希少野生動植物等の指定)
第三十九条 知事は、都内に生息し、又は生育する絶滅のおそれのあるものとして次の各号のいずれかを有する野生動植物の(生息地又は繁殖地)を保護するため、その種又は生息地又は繁殖地を「東京都希少野生動植物等」として指定することができる。

- 一、種の名前と生息地を定めたもの
- 二、種の名前と繁殖地を定めたもの
- 三、その他の個体の主なる生息地又は繁殖地を定めたもの
- 四、その他の個体の主なる生息地又は繁殖地を定めたもの
- 五、前各号に掲げるもののほか、その種の保護に支障を来す事情がある野生動植物

東京都では、まだひとつもこれに指定されていません。だから、トビハゼは「準絶滅危惧種」に指定されていても、とってもバツはないのです。

僕は、このことがとても不思議でした。たくさんとってしまったら、いなくなってしまうことがとても不安だからです。

早く、トビハゼのような絶滅しそうな生き物を守ってくれる法律ができたらいいのに、と思いました。

そうしたら、みんなが環境を守ってくれるようになる！

そこで、今年の6月、アユの放流のときに、**お魚ポストの山崎さん**に聞いてみました。そうしたら、山崎さんは、

「トビハゼは、自然の中でもオスは1年しか生きられないことが多いから、1, 2匹捕まえて水槽で死んでしまっても、それは仕方のことなんだよ。」

でも、取りすぎないことが大切。

それと、干潟に行ってみんなに覚えてもらって、たくさんのひとがかわいいな、守ってあげたいな、と思ってくれることが大切だよ。」と教えてくれました。

僕は、みんながトビハゼ守ってあげたいと思うようになって、みんなが環境を大切にしたいと思ってくれるようになるといいな、と思いました。

トビハゼの一生

- ・産卵期は 6月～8月
- ・寿命は 1年～3年。
- ・生後1年で全長5cm。
- ・オスは、1年ではんしょくに参加して、死んでしまう。
- ・メスは、生後2年（全長7～9cm）まで成長してからはんしょくに参加する。

ふ化すると海の中におよぎ出てそこで生活して、全長15mmぐらいになると、干潟に定着します。

じゅ命は、1年～3年で、生後1年で全長5cmほどになります。オスの大部分は1年ではんしょくに参加し、はんしょく後は死んでしまいます。メスは生後2年、全長7-9cmになるまで成長してからはんしょくに参加します。

トビハゼは、種としては、東京湾から沖縄本島にかけての日本列島沿岸、朝鮮半島、台湾や中国に、すんでいます。東京湾は、すんでいる地域の一番東に当たります。

生きていける環境がなくなることによって、個体群の数や生息地が減っています。生きていることが確認されている河口や干がたは、谷津干がた、三番瀬から江戸川河口にかけての水域、新浜、東京港野鳥公園、多摩川河口です。

とびはぜの仲間は、地方によっていろいろな名前で呼ばれています。

どれもとてもかわいい名前で、トビハゼの仲間が色々な地方で愛されてきたことが分かります。

でも、これらはトビハゼと全く同じ種ではないそうです。

トビハゼはどうして魚なのに、泥の中で生活できるのだと

- トビハゼの仲間のかわいい呼び名
・ピョンピョンハゼ（高知）
・ネコムツ（九州地方）
・カッチャン、カッチャムツ、カッタームツ（佐賀）
・カタハゼ、ムツゴロ（熊本）
・トントンミー（南西諸島）

なぜ水から出ても平気なの?

- 特別な呼吸
水の中→えら呼吸
水の外→皮ふ呼吸
- 陸上でも体の表面が乾燥しないように
体の表面から液体を出して、体を守る。

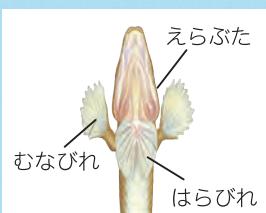
思いますか?

それは、トビハゼの体には、皮ふの表面近くに毛細血管の発達した部分があり、そこで皮膚呼吸をすることができるからです。

もちろん水の中では、えらを使って呼吸をしています。また、水の外では体がかんそうないように、体の表面から液体を出し、身体を守っています。

トビハゼの体のしくみ

トビハゼの体をおなかの側から見ると、水の外に出て生活するために発達したいくつかの特ちょうが良く分かります。



むなびれは、水の外をはいまわれるよう、太く、うでのようになっています。はらびれは、岩や流木など垂直な場所にしっかりとへばりつけるように、吸盤状に変化しています。えらぶたは、大きくふくらませて、水をためておくことができるようになっています。その水を使って、空気中でもえら呼吸ができ、皮ふ呼吸と合わせて、必要なさん素を得る事ができます。

陸上生活に適応するために特しゅ化した行動や体の機能は、さらに、泥浜干がたの環境指標生物としても注目されているそうです。

「環境指標生物」とは、すんでいる環境の状態を知るために観察する生物のことです。

ぼくは、「環境指標生物」として、トビハゼを観察することでどんなことがわかるのか、葛西臨海水族園に電話をしてインタビューしてみました。

トビハゼが干潟にいるということは、しっかり栄養が含まれている泥があり、環境が保たれているということだからです。なぜなら、トビハゼは干潟の生物ピラミッドで一番上の動物だからです。トビハゼがいるということは、トビハゼのエサになる生き物やそのずっと下の植物まですべてが元気な環境だということがわかります。

トビハゼは、冬の間は泥の中にいて、出てきません。泥の上で活動するのは、春先から11月までです。

観察するグループは、同じ場所で、同じ時期に観察するようにしています。葛西臨海水族園では、東なぎさという人工干潟で、多摩川ではないのですが、荒川と江戸川の生態を調べているそうです。トビハゼはとても警戒心が強いので、研

究者は年に1、2回しか入れません。

また、観察する場所を増やすために、東京湾の周りの水族館などで、手分けして調査しているそうです。環境問題の調査やトビハゼの観察を10年間続ける予定です。

1年間の気候も調査して、暑い、寒いなどや、台風の影響なども調査しているそうです。今年は2年目なので、まだ始まったばかりで、その結果は出でていません。10年やって、どれだけ変わったかを東京湾周辺の水族館で発表し、環境省に提出するという計画を立てています。



葛西臨海水族園のトビハゼ 2012年11月23日撮影

トビハゼは、学校の水槽でも死んでしまいましたが、水族館でも飼育がとても難しいそうです。

葛西臨海水族園にいって調べてみました。

葛西臨海水族園では、2004年にトビハゼの繁殖に成功しています。

トビハゼは、深さ30cmほどの巣を掘ります。なので、35cmほど泥を盛らなければいけません。

そこで、葛西臨海水族園では、1999年に、泥を35cm敷けるように、水槽を改修しました。

すると、2004年には、水族園の水槽内で回収した100尾ほどの仔魚のうち、8尾が育ちました。求愛行動がさかんになり、オスの巣穴に2匹が一緒に入ってから、夜間には満潮の状態にして、4日目の朝にふ化した仔魚を回収しました。

そこでわかったことは、トビハゼの飼育のためには、まず、泥の中に30cmの巣穴が掘れる水槽を用意することが大切だということです。でも、深さだけではダメで、干潮と満潮を繰り返すところでないとダメです。あと、夏場でも、暖房で30℃に保つことが大切だということが分かりました。

どうしてトビハゼはいなくなっているのでしょうか?

個体群が親せきどうして交尾することが心配されています。それは、親せきどうしの交尾によって、種が遺伝子的に弱くなるからです。あと、河川開発や海岸開発によっても、すむ場所がなくなって、さらに、水の汚れによってすむ所が汚れてしまって、危険にさらされています。

トビハゼを守るために僕たちにできることは何だと思いますか? 葛西臨海水族園に聞いてみました。

どうしたら守れるの?

葛西臨海水族園にインタビュー

- ・生活排水に気を付けること。
- ・自然に戻るせっけんを使うなどの配慮。
- ・自然に生きている環境のゴミ拾い
- ・トビハゼに迷惑にならないように、自然の中で観察。
- ・トビハゼが生きられる環境を知ること。

最後に…

僕は自然がものすごく大好きです。だから、自然を大切にして、いつまでもそこにあってほしいです。

いつまでも、僕たちに遊び場や、生きるために大切な水や、おいしいものを恵んでほしいなと思います。自然は、こわしてはいけないと思います。

トビハゼもずっと自然の中で生きていてほしいです。

そして、来年も、再来年も、ずっと、多摩川学習をする4年生が自然の中で生きるトビハゼに会ってほしいなと思っています。

僕の発表を聞いてくださいありがとうございました。

追憶と鎮魂 多摩川灯篭流し ~多摩川から絆を発信~



去年の3月11日、東日本大震災では多くの方が被災し亡くなりました。



地震もまさることながら、水の力でたくさんの命が失われたことはみなさんもご存知だと思います。

海と川はつながっていて、遠く離れた多摩川からもその魂に私たちの想いを届けたい、そう思い灯篭流しを行いました。灯篭流しは今年の3月11日に行い、子どもから大人までたくさんの方が参加してくれました。

スタッフは、みなボランティアで、小学生からお年寄りまで幅広い世代の方々が参加してくれました。多摩川は、みんなが興味を持って訪れてくれるふるさとの川だということがわかりました。



明るい間は美化活動です。集めたゴミは全部持ち帰ります。

明るい間は、スーパーのレジ袋を片手にゴミ拾いを実施しました。しっかりとライフジacketをきて安全に行うことができました。ゴミ拾いでは掃除機のホースや自転車のタイヤなど、なんでこんなゴミがというようなものも拾われました。

以前に比べてゴミの量が格段に減っていたので、多摩川をきれいにしようという意識が高まってきたことを感じました。

同時進行でお魚ポストにいれられた亀の里親探しも行いました。

参加者が集まりだしたころに、姉と私の2人で環境紙芝居を行いました。



・おかなポスト カメの里親募集中 同時進行です。

(パソコン) ~おかなポストの会~

川崎市 生田中学校 3年 山崎 穂垂さん



・子ども達は環境紙芝居も実施しました。

多摩川と環境について学ぶとともに命の大切さについて考えることができたこと思います。

紙芝居の中には、クイズがたくさんあるのですがみんな手をあげて積極的に発言してくれたので、とても盛り上りました。

今回の灯篭流しの看板は、川崎市老人クラブ連合会の方が墨で書いてくれました。とても習字のうまい方で、亡くなつた方への追悼の思いが伝わってくるものでした。



・川崎市老人会連合会の方が、墨で文字を書いてくださいました。



・寄せ書きを書きました。

大きな紙に色とりどりのペンで大人から子どもまで被災地に向けてエールを贈る寄せ書きを行いました。



・流し灯ろうは発泡スチロールのトレーに紙コップに願いを書きます。全て手作りです。

日本国旗や花束など、かわいい絵を書いてくれた方もいます。流し灯籠は発泡スチロールのトレーや紙コップにペンで被災地への思いと願いを書きました。元気づける言葉や家族が笑っている絵など、ひとつひとつ全て手作りなので思いがこもった灯籠を作ることができました。



青竹で作った花灯籠

発泡スチロールのトレーや紙コップの他に青竹で花灯籠と



竹灯明を作りました。竹を切るところからはじめり、全員でお花を飾り付

・足下を照らす竹灯明を配置しました。



けました。

のこぎりで竹を切る時に手にまめができて痛かったです。板に紙コップで文字を書きました。



参加者が一人づつ心を込めて火を入れました。

その中にろうそくを入れ火を灯すと…「3.11」のもじがくっきりと浮かび上りました。



・いよいよ灯ろうを流します。

川に入れます、実はこれ私のお姉ちゃんなんです。

灯籠に全員が火を灯しました。流し始めはまだ明るいのですが…とっぷりと日が暮れると、水面にやさしい光がうつります。暗やみの中に命のともしびのような淡い光がひとり人の思いをのせ、輝いていました。

参加者全員がこの光が被災地へと、そして亡くなつた方々に届くように願い心を込めて流しました。

とっぷりと日が暮れると
水面にやさしい光が映ります。



参加者が一人づつ心を込めて願いを書き火を入れました。



3月11日あの日を忘れない
絆と結んで手をつなぎました
やさしい気持ちで
祈りをささげました
いつもいっしょだよ
いっしょだよ

この催しは、神奈川新聞やタウンニュースでも紹介されました。



東日本大震災からもう1年と9ヶ月経ってしまいました。被災地には活気が戻りつつありますが、爪あともまだ残っています。

自然の驚異の前では、私たちは何もすることができないのです。

しかし、その自然に立ち向かい共存する道を探ることはできると思います。

今回の震災のように復興するのは、時間も技術も必要でとても難しいことです。

しかし、日本全体が被災地のことを思い絆を大切にすればきっと新しい道は開けると思います。

その思いと願いひとつにして、これからも被災地への思いをのせた灯籠流しを続けていきます。

来年は、3月9日(土)15時から行います、場所は川崎市多摩区稻田堤お魚ポスト前の多摩川です。ぜひ参加してみてください。

忘れないでください、あの日のことを。

作品賞発表・賞状授与

審査講評



おぐら のりお
美しい多摩川フォーラム 副会長 小倉 紀雄



美しい多摩川フォーラム ひらの けいこ
副会長 平野 啓子

第2部：交流会



美しい多摩川フォーラム ささき のぶよし
アドバイザー 笹木 延吉



会場アンケート結果

質問 興味をもった発表は何ですか？（いくつでも）

	回答者数	全体比
①友田の獅子舞	14人	10.2%
②わたしたちの「せせらぎ観察園」紹介	12人	8.7%
③多摩川イベント紙芝居	17人	12.3%
④多摩川で観察したこと	6人	4.3%
⑤気持ちの良い多摩川でのボート ～ぼくが多摩川でボートを始めた理由	9人	6.5%
⑥浅川とあそぼう	14人	10.2%
⑦多摩川連想ゲーム PART II	17人	12.3%
⑧多摩川に伝わる伝統漁法	11人	8.0%
⑨多摩川の魚たち	6人	4.3%
⑩僕はトビハゼをとりたくなかった	14人	10.2%
⑪追憶と鎮魂 多摩川灯篭流し ～多摩川から絆を発信～	18人	13.0%



質問 発表を聞いて何が学べて、どんな感想を持ちましたか。

- 自然を守ること、川を美しくすること。
- みんなとても良く調べていて、わかりやすかった。
クイズ等も出され、楽しく過ごすことができた。
- 多摩川の歴史について、良く調べたと思う。
- 子どもたちの想いを大事にしたい。
- 素晴らしい環境が身近にあり、それを色々な学校で学ぶように援助している団体やイベントがあることを知った。
- 多摩川の大切さを学ぶことができた。
- 小学生なのに良く勉強しているなど感心した。
- 多摩川は面白く、自然に溢れていることがわかった。
- 多摩川をキーワードに、環境だけではなく、色々な人の交流ができる事を知った。
- 多摩川の自然を活かし、楽しい遊びから心身の健康を育てていくことの大切さを感じた。
- 子どもたちにもっと川を楽しみ、学んでほしいと思った。
- 子どもたちが多摩川に興味を持ち、環境浄化に留意するのは大変心強い。こういった子どもたちが大人になれば、他人の迷惑を考えず、見るに堪えかねないバーベキューの後始末やゴルフ練習等が無くなるに違いない。
- 子どもの発表基準のレベルが高い。
- みんな堂々と発表していた。
- とても素晴らしい発表だった。これからも期待する。
- みんなよく観察していた。
- 多摩川の歴史を学ぶことができた。
- 多摩川と親しむイベントがたくさんあることに驚いた。
2年前にも参加したが、その時よりも発表の内容が幅広く、面白かった。
- 愛鳥や多摩川フォーラムの活動について学ぶことができた。
- 子どもの力に感動した。
- 多摩川にも灯篭流しがあることを知った。

質問 次回に期待するテーマは何ですか？

- 自然に対する取り組みを更に進めるにはどうしたら良いか。
- 多摩川の魚について、より詳しく。
- 多摩川の未来。
- 多摩川の自然の中で、子どもたちの心身の成長に繋がるイベント等の話題。
- クイズ等。
- 多摩川の水質。

質問 次回は自分も発表したいですか？

	回答者数	構成比
● 発表したい	4人	10.5%
● 発表はしたくないが参加したい	8人	21.1%
● 参加しない	3人	7.9%
● 周囲の人に参加・発表をすすめたい	14人	36.8%
● 不詳	9人	23.7%

美しい多摩づくり運動を推進する

美しい多摩川100年プラン

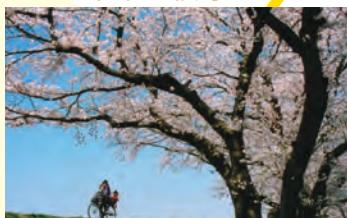
美しい多摩川フォーラムは、平成20年4月、経済・環境・教育文化を運動の柱に、多摩地域の将来を見据えた基本計画「美しい多摩川100年プラン」を公表。 “持続可能な地域社会”の実現に貢献します。

地域経済の活性化は、
美しい多摩の桜の観光まちづくりから

経 済

- 桜ウォーキング(4月)
- 「美しき桜心の物語」の語り会(4月)
- 多摩川フォトコンテスト写真展(3月)
- 「多摩川夢の桜街道～桜の札所・ハナハカ所巡り」運動

未来の桜守へ



すべてはここ(水干)から



夢のシンボルプラン

多摩川夢の桜街道
<http://www.sakurakaido.jp>

明るい未来のまちづくりは、
「次代を担う子どもたち」への環境教育から

教育文化

- カヤック体験教室(7月)
- 炭焼き体験と水辺の交流会(8月)
- 多摩川子ども環境シンポジウム(12月)
- 桜守学校活動(3月)
- 「多摩の物語」普及活動
- 「多摩川の歌」普及活動

水辺に親しもう



地球環境問題への取り組みは、
身近な水辺の実態認識から

環 境

- 多摩川一斉水質調査(6月)
- 美しい多摩川クリーンキャンペーン(11月)
- 「美しい多摩川フォーラムの森」活動(森林の保全整備)
- 桜等の植樹・維持再生活動

私たちといっしょに活動やイベントに参加してみませんか

第6回 2013.12.14(土)開催決定!!
多摩川子ども環境シンポジウム

昭島市／フォレスト・イン 昭和館 [14:00~16:30](予定)

お問い合わせ
・連絡先 美しい多摩川フォーラム事務局

東京都青梅市勝沼3丁目65番地
(青梅信用金庫 地域貢献部内)
TEL: 0428-24-5632

美しい多摩川
<http://www.tama-river.jp>

検索

